

## 催事の申し込み状況 発表内容

### 公式参加者（公式参加の国と地域、国際機関）の申し込み状況

#### ○ND/SD（ナショナルデー/スペシャルデー）

ND / SD（ナショナルデー/スペシャルデー）と呼ばれる、公式参加者を称えるイベント。

日程の申し込みの状況は、現在、表明を頂いている169の公式参加者（公式参加の国と地域、国際機関）のうち、すでに131者からの申し込みを頂いている。

これは、全体の約78%、実に3/4を超えるにあたり参加者が申し込んでくださった。申し込みは、10月までお受けする。

※ナショナルデーとは、公式参加の国と地域を称えるイベント。

スペシャルデーとは、公式参加の国際機関を称えるイベント。

#### ○公式参加者自主催事

アーティストやパフォーマーによるイベントや、様々な文化的なイベント等、現在352件の申し込み。

### 公式参加者以外の申し込み状況

#### ○シグネチャーイベント

8名のテーマ事業プロデューサーの方々が、企画実施するイベント。

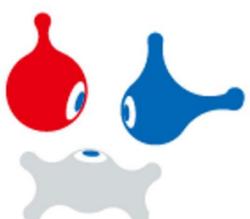
8名全員から様々な催事企画のご提案を頂いている。

#### ○省庁連携催事

内閣官房、内閣府、復興庁、総務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、の11府省庁から、テーマウィーク合わせて、41件の申し込み。

具体的には、能楽や文楽、伝統工芸品の展示・披露等伝統文化・伝統芸能を楽しめる企画や、障がい者の方々が行う舞台芸術や作品展示。

最先端のロボット技術の実演や体験できる企画がありました。



## ○自治体参加催事

自治体参加催事には、様々な自治体より、催事とテーマウィーク合わせて、44件の申込みを頂いている。

自治体は独自のブースやステージで観光資源や特産品、伝統行事などを紹介する。地元で息づくまつり、伝統的な芸能や舞踏、また独自の技術やSDGsの取り組みをVRなどの最新技術を交え、地域の魅力に触れる様々な企画が予定されている。

地元大阪からは、大阪府・大阪市を中心に府内すべての市町村が連携し、世界に向けて大阪の魅力や特色を発信する「(仮称)大阪ウィーク」を開催予定。

会期中の5月、7～8月、9月の3期にわたり、各期10日間程度、大阪の人々がエネルギーを注ぐ「祭り」をキーワードに、様々な催事を展開。大阪の観光や、技術・産業、食文化などを来場者に体験してもらう「大阪43市町村の祭典」や、大阪の代名詞とも言える「だんじり・やぐら・太鼓台等が大集合」した曳行の実演、地域の子どもからお年寄りだけでなく、来場者も参加する「盆踊りでギネスに挑戦」など大阪ならではのプログラムも予定。未来へと語り継がれる訴求力のあるイベントを企画中。

## ○出展者催事（パビリオンデー）

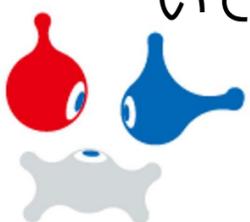
民間パビリオン出展者の多くが、パビリオンデーを実施します。

パビリオンデーでは、各民間パビリオン出展者はそれぞれのパビリオンのテーマを、ステージイベントなどを通じて発信します。現在は、各民間パビリオン出展者がパビリオンとは異なるワクワクするような体験を提供しようと準備を進めている段階です。

## ○協会協力催事

メディアの皆様からは、現在33件の催事企画をご提案頂いている。

関西のラジオ局11社12局の合同企画など、具体的な提案もあり、後日改めて詳細を発表させていただきます。また、会期前に機運醸成に携わって頂いた様々な事業者からも、会期中の催事企画として29件の企画をご提案頂いている。



## ○一般参加催事

昨年の12/31に1次募集を締め切り。1次募集では、514件の企画エントリーを頂いた。

今後、3月まで、選考委員会による選考会を行い、博覧会で開催が可能なイベントを選考していく数多くあるポップアップステージなどの小型の施設の利用に関しては、5月以降に2次募集を予定している。

## ○催事施設への申し込みの状況

11の催事施設の内、ポップアップステージ以外の施設の申し込み状況は、すでに施設の利用回数を超えた申し込みを頂いている状況。

